

こころだより

特集

山口県大規模地震訓練に 参加して

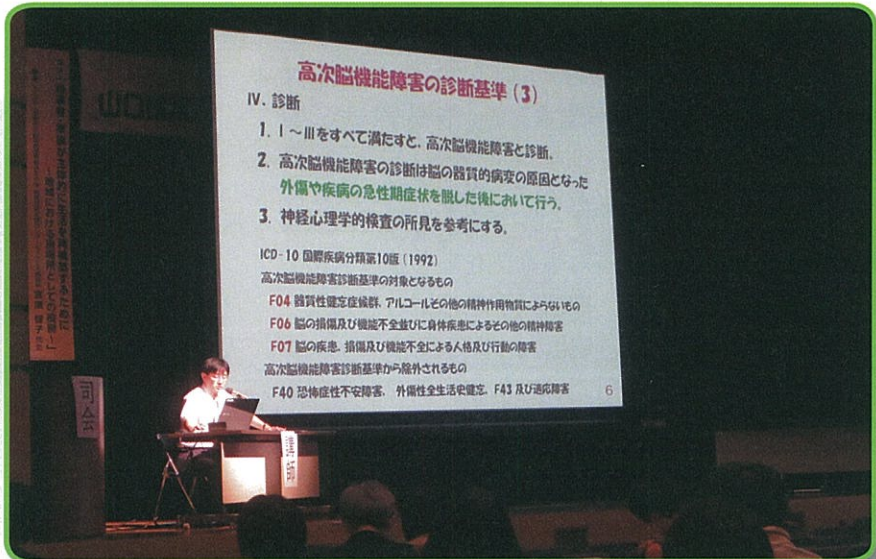


～病院理念～

県民の心の健康を支える
質の高い医療の提供



職員手作りの門松です。
毎年工夫をこらしています。



10月に山口市にて山口県高次脳機能障害リハビリテーション講習会を開催。
当事者・家族・支援者等約200人の参加がありました。



* 令和2年を迎えて

* 認知症疾患医療センター合同研修会のお知らせ

* 意外においしい? 当院人気レシピ!

* 診療のご案内



編集：広報委員会
発行：山口県立こころの医療センター
山口県宇部市東岐波4004-2
TEL：0836-58-2370 (代表)

特集!

山口県大規模地震訓練に参加して

10月26日に山口県で大規模地震を想定した災害訓練が行われました。

中国地区のDMAT隊、DPAT隊、消防、自衛隊、行政など色々な職種が参加した大規模な訓練でした。

実際の災害が起こったときにはまず災害対策本部（調整本部）が立ち上がります。そこから指示を受けてDPAT隊は活動拠点本部を立ち上げます。活動拠点本部は、各地（被災病院や避難所等）に派遣されるDPAT隊を統括しコントロールを行うのが役目です。今回の訓練では2名のスタッフが活動拠点本部として活動しました。活動拠点本部は、様々なミッションを同時にこなしDPATの活動が円滑に行える

よう頻りに連絡や確認を行わなければなりません。今回の訓練では活動拠点本部の立ち上げから行ってもらい、他のDPAT隊だけではなくDMAT隊や当院の院内対策本部との連携も必要とされました。活動拠点本部担当の2名のスタッフは落ち着いて行動できていました。いざという時に向けて貴重な訓練だったと思います。

活動拠点本部コントローラー 賀山道広

26日の大規模訓練では活動拠点本部を担当しました。予想外のことが起こり、一つひとつの判断に迷う自分がありました。一方で、これまでの訓練で学んだことを活かした部分もあり、日ごろの準備や訓練は本当に大切だと思いました。

9月末、熊本地震（2016年4月16日）で大きな被害を受けた益城病院を見学する機会を得ました。被

災した旧病院の様子から被害の大きさを実感し、震災から3年半経っても、その影響は続いていることを知りました。また、震災時は、次々と状況変化が起こる中、柔軟な対応を取り続けなければならないこと、日ごろから災害を想定して準備・訓練しておくことの大切さを学びました。

DPAT先遣隊 米田一実

26日の大規模災害訓練に合わせて当院でも災害訓練を行いました。災害対策本部を立ち上げ、各部署からの情報を集約し、被害状況を把握しました。対策本部に上げられた情報は、全てライティングシートに時系列で記録していきます。情報から対策が必要な事柄について検討がなされ、各部署に指示が降りていました。患者さんの安全の確認、被害建物への出入り禁止、患者さんの食事の手配や配膳方法、夜勤者の確保と職員の食事確保などが検討されました。また、今回の訓練では他病院の患者さんの避難を一時的に引き受ける一時集積所の役割を担い

ました。外来待合室を一時集積所とし、パーティションで空間を区切り、ベッドや処置台を配置しました。他病院から16名の模擬患者さんを一時集積所に受け入れました。

当院では幸いなことにこれまで災害対策本部を立ち上げるほどの災害にはあっていません。しかし、災害はいつ起きるか分かりません。今回の訓練の課題を検討し、災害時にも患者さんの治療が継続できるように準備しておく必要があります。

院内災害対策本部コントローラー 大井真澄

“平時にできないことは有事にもできない”。

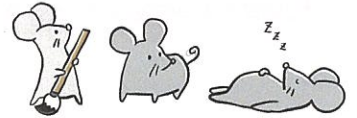
災害が起こらないことを願いつつ、日々意識して過ごしていきたいと思っています。



令和2年を迎えて

平成31年そして令和元年と改元した1年間、皆さまからいただいたご支援やご協力に、深く感謝申し上げます。新たに迎える令和2年が、皆さまにとって、穏やかで実りある1年となりますように、心より願っております。

新年は、子(ね)年で、十二支が1周回って再スタートします。昔話のねずみは、牛の頭の上に乗って、ご神所の門を1番ですり抜けるなど、ずる賢いイメージです。私が幼稚園時代にテレビ放映がスタートした「ゲゲゲの鬼太郎」では、「ねずみ男」は鬼太郎を窮地に陥れるヒール役でした。その頃、自宅の壁に家ねずみの通り穴を見つけ、慌てた父親に連れられて屋根裏によじ登り「ネズミコロリ」を撒いた記憶があり、昭和の日常で、ねずみは招かれざる厄介者でした。今や家ねずみは危惧種となり、世間に溢れるミッキーマウスやピカチュウなどハグされるほどに愛されるねずみ達がイメージを一新し、子年



生まれの方々も胸を張れる時代になりました。いずれにせよ、子(ね)には、元来、「新しい生命が種の中で芽生え始める」意味があるそうで、1年後、その意味が具現された年と振り返られるように、共に歩んで行ければと願っております。

当院の理念は、「県民の心の健康を支える質の高い医療の提供」です。心の健康(メンタルヘルス)は、多様化する現代社会のさまざまな局面でますます重視されています。当院で働く職員は、心の病気を抱える方々の治療や支援に携わる専門職としての矜持を保って、当事者・ご家族と誠実に向き合い、安心・信頼・希望を高めるように関わらせて頂きたいと願っております。右手に「マウス」を握りしめ、新年に向けてご挨拶申し上げます。新年もどうぞよろしくお願い致します。

院長 かねゆき 兼行 ひろし 浩史

認知症疾患医療センター合同研修会

総合テーマ「認知症の人を支援するための医学的理解を深めよう」

日時：2020年2月16日(日) 13:00～16:30

場所：山口県総合保健会館 2階 多目的ホール

山口市吉敷下東3丁目1-1 TEL083-934-2200

13:00～13:10 開会の挨拶

13:10～14:10 講演Ⅰ《神経内科学の立場から》

《座長》山口大学大学院医学系研究科臨床神経学 神田 隆 教授

『認知症診療に関する最近の話題』

《講師》札幌医科大学医学部神経内科学講座 下濱 俊 教授

15:00～16:30 講演Ⅱ《精神医学の立場から》

《座長》山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学 中川 伸 教授

『動画で見る認知症の症状とその対応』

《講師》香川大学医学部精神神経医学講座 中村 祐 教授



対象：医療・保健・福祉関係者及び支援者、学生

主催：山口県、いしい記念病院、柳井医療センター、泉原病院、
県立総合医療センター、県立こころの医療センター、下関病院、
萩病院、三隅病院

共催：山口県医師会、山口県神経精神科医会

※申し込み締め切り 2020年2月7日(金)

お問い合わせ：

山口県立こころの医療センター内
認知症疾患医療センター(徳永・坂本)
TEL: 0836-58-5950



★意外においしい!? 当院人気レシピ♪

豆板醤の分量を調整することで
老若男女食べやすい料理となります。



油淋鶏 (ユーリンチー) <作り方>

- ① ビニール袋に鶏肉、塩、おろししょうがを入れてよくもみます。もんだら15分置く。
- ② ①の鶏肉に片栗粉をまぶして、揚げます。(温度は170℃程度、充分火を通します。)
- ③ レタスを水洗いして、適当な大きさにカットします(手でも、包丁でも)。皿に広げるように盛り付けます。
- ④ 鶏肉を食べやすい大きさにカットしてレタスの上に盛り付けます。
- ⑤ ☆をボウルに入れてよく混ぜ合わせて鶏肉の上にかけて出来上がり。

<1人当たりの材料>

鶏モモ肉	80g	片栗粉	適量	☆鶏がらスープ	5cc	☆酢	小さじ1/2
塩	0.2g	サラダ油	適量	☆砂糖	小さじ1/2	☆豆板醤	小さじ1/4
おろし生姜	適量	レタス	適量	☆醤油	小さじ1	☆刻み葱	2g

焼きたてもおいしいですが、冷ましてお弁当の具材にしてもgoodです!!

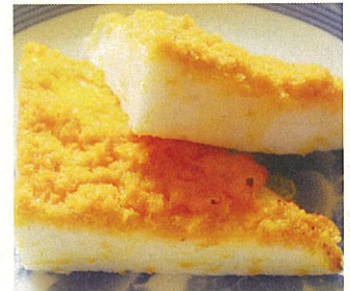


はんぺんもみじ焼き <作り方>

- ① ☆を容器に入れて混ぜ合わせます。
- ② はんぺんに①で混ぜ合わせたものをまんべんなく塗ります。
- ③ 油をひいたアルミホイルかクッキングシートにはんぺんをのせオーブンで焼いたら出来上がり。(160度で約8分が目安です。)

<1人当たりの材料>

はんぺん	50g	☆すりおろした人参	10g
サラダ油	適量	☆めんたいこ	10g
		☆マヨネーズ	小さじ1



診療のご案内

外来診療担当医

初診		再診					
月	(物忘れ・高次脳) 兼行	(一般) 角田	磯村	藤田	(禁煙、第1・第3) 藤田・新造		
火	(児童・思春期) 村田		吉田	青島	山科		
水	吉田(AM)		兼行	村田	新造	青島	野田(PM)
木	(依存症) 藤田	(一般) 新造	兼行	角田	吉田		
金	(児童・思春期) 青島(AM)		藤田	野田			

初診・再診とも予約制となっております。予めお電話でご予約されてご来院ください。
外来直通電話：0836-58-2327

交通のご案内



お車 / 山口宇部道路「宇部東IC」より丸尾方面へ約5分
電車 / JR宇部線「丸尾駅」より徒歩約15分
バス / 宇部市営バス「東岐波中学校前」より徒歩約10分

地方独立行政法人山口県立病院機構
山口県立こころの医療センター

〒755-0241 山口県宇部市東岐波 4004-2
TEL: 0836-58-2370 (代表)
: 0836-58-2327 (外来直通)
FAX: 0836-58-6503



こころの医療センター

検索

<http://www.y-kokoro.jp/>